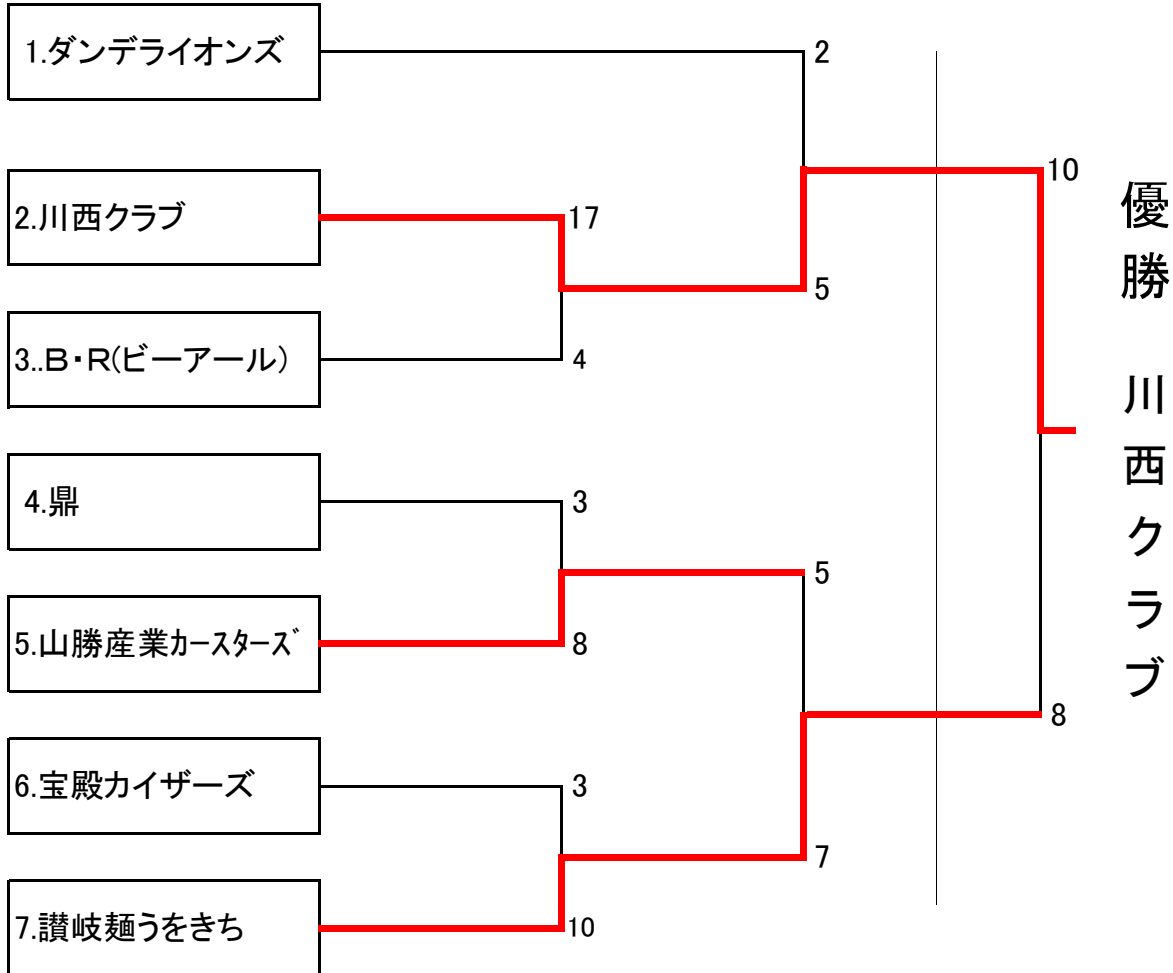


平成24年度 県民成年男子加古川予選

平成24年5月20日・27日
加古川両荘河川敷グラウンド

優勝 川西クラブ
準優勝 讃岐麺うをきち
三位 山勝産業カースターズ
三位 ダンテライオンズ



1回戦	山勝産業カースターズ 鼎	3 0 0 1 4 1 1 1 0 0	時間切れ	8 藤原一石原 3 濱口一鈴木
1回戦	宝殿カイザーズ 讃岐麺うをきち	0 0 0 3 0 0 3 5 0 2×	5回コールド	3 松山・谷田一大林 10 柿元一岩澤
1回戦	川西クラブ B・R(ビーアール)	2 1 6 1 7 0 2 1 0 1	5回コールド	17 難波一山名 4 神子島一大西
準決勝	山勝産業カースターズ 讃岐麺うをきち	0 0 3 0 2 1 0 4 2 0	時間切れ	5 藤原一石原 7 柿元一岩澤
準決勝	ダンテライオンズ 川西クラブ	0 0 0 1 1 0 2 0 0 3	時間切れ	2 中井一中川 5 部原一山名
決勝	川西クラブ 讃岐麺うをきち	3 0 2 0 2 1 2 4 0 0 2 0 2 0		10 部原・難波一山名 8 柿元・佐多一岩澤

平成24年度 成年男子加古川予選

(準決勝)① 試合時間1時間22分 試合日24年5月20日 試合番号 4

審判員(球審) 松山信司 (1塁) 岡村昌夫 (2塁) (3塁) 奥谷晋三
 (副審) 坂尻末吉 (記録) (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
山勝産業カースターズ	0	0	3	0	2										5
讃岐麺うをきち	1	0	4	2	0										7

バッテリー【先攻】柿元裕臣－岩澤孝俊 【後攻】藤原光洋－石原宗一 呂
 長打 【先攻】(本)今井将博・浦野慎一 【後攻】(本)出間将大・下元裕翔
 (三)南部吉朗 (二)田上英昭・鹿島謙太

(準決勝)② 試合時間1時間17分 試合日24年5月20日 試合番号 5

審判員(球審) 岡村昌夫 (1塁) 路次 隆 (2塁) (3塁) 辻川好正
 (副審) 坂尻末吉 (記録) 丸橋正和 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
ダンデライオンズ	0	0	0	1	1										2
川西クラブ	0	2	0	0	3										5

バッテリー【先攻】中井祐希－中川 亘 【後攻】部原光也－山名秀和
 長打 【先攻】(三)中井祐希(二)富木秀明 【後攻】(二)難波健太・高橋卓也

(決勝) 試合時間2時間04分 試合日24年5月27日 試合番号 6

審判員(球審) 小山田健二 (1塁) 辻川好正 (2塁) 河浪 規 (3塁) 小山田健二
 (副審) 山卯泰久 (記録) 坂尻末吉 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
川西クラブ	3	0	2	0	1	2	2								10
讃岐麺うをきち	4	0	0	2	0	2	0								8

バッテリー【先攻】部原光也・難波健太－山名秀和 【後攻】柿元裕臣・佐多 修－岩澤孝俊
 長打 【先攻】(本)木下幸次 【後攻】(本)大山潤己・鹿島謙太
 (二)山名秀和・難波健太 (二)大山潤己

平成24年度 成年男子加古川予選

試合日	2012年5月27日	第二日目	決勝	球場名	加古川河川敷グラウンドDコート	第1試合	
試合開始時間8時57分		試合終了時間11時01分		試合時間2時間04分		中断時間	
審判員	(球審) 小山田健二	(一塁) 辻川好正		(二塁) 河浪 規		(三塁) 塚越正則 (副審) 山卯泰久	
記録員	坂尻末吉	補助記録員		放送委員		会場名	河川敷Dグラウンド

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	勝利・敗戦投手	
川西クラブ	3	0	2	0	1	2	2				10	勝	難波健太
讃岐麺うをきち	4	0	0	2	0	2	0				8	負	佐多 修

チーム名	投手	捕 手	打者	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策
川西クラブ	部原光也・難波健太	山名秀和	31	9	4	3	0	2	1	3
讃岐麺うをきち	柿元博臣・佐多 修	岩澤孝俊	34	12	1	3	0	4	0	5

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
川西クラブ	(本塁打) 木下幸次(二塁打) 山名秀治・難波謙太
讃岐麺うをきち	(本塁打) 鹿島謙太・大山潤己(二塁打) 大山潤己

(戦評) 川西クラブ接戦を制す

川西は初回うをきちの柿元投手の立ち上がりを攻め先頭打者のライト前のヒットから犠打野選から4番山名の二塁打と崎岡のヒットで3点を先制した。うをきちもその裏連続ヒットで1・2塁とし3番大山の二塁打で1点返し4番鹿島の3点本塁打であっさり逆転した。その後お互いに点を取り合い試合は終盤延長タイブレーカーになるかと思われたが最終回8番木下の起死回生レフトオーバーの2点本塁打が飛び出し川西が再度突き放した。その裏うをきちも二死1・2塁と一打逆転のチャンスをつかんだが難波投手が何とか凌ぎ激戦にピリオドを打った。